

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和5年度 技術情報第20号（クルクマの新病害）について（送付）

施設栽培のクルクマにおいて新病害が発生しましたので、周知及びご指導をよろしくお願いたします。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>）にも掲載しています。



令和5年度 技術情報第20号

- 1 作物名 クルクマ（ショウガ科）
- 2 対象病害虫 クルクマの *Colletotrichum curcumae* による病害

3 発生状況と病徴

- (1) 令和5年7月に県内のクルクマ施設栽培2ほ場（2年据置栽培）において、葉及び花弁に、不整円形のややくぼんだ褐色病斑を呈する症状が発生した（図1）。その病斑上には黒色の剛毛を生じた微小黒点（分生子層）と分生子が観察された（図2）。
- (2) 本病は品種間差が認められ、また、台風接近に伴いハウスを閉めきり、高温・高湿度条件後に発生が増加したとのこと。
- (3) 菌の同定を鹿児島大学農学部植物病理学研究室に依頼したところ、遺伝子解析の結果 *Colletotrichum curcumae* であることが確認された（令和6年1月）。本病はインド及び中国で確認されているが、国内では未発生であり、これまでのところ当該ほ場以外で本病の発生は確認されていない。なお、発生ほ場において抜き取りによる防除を実施し、これまでに当病害の発生は確認されていない。

4 防除対策

- (1) 発病株は見つけ次第、ほ場外に持ち出し、適切に処分する。
- (2) 分生子の飛散・伝染を防ぐため、頭上かん水は控え、できるだけ水の跳ね返りがないうようなかん水を行う。また、かん水は、高湿度条件が長時間継続しないよう、天候や時間等を考慮して行う。



図1 葉及び花卉の病斑

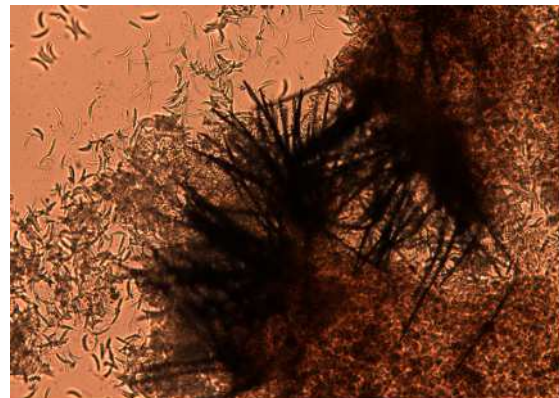


図2 剛毛を生じた微小黒点（分生子層）と分生子